



おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2019年7月30日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

【スポット調査】

大型連休（10連休）の影響について

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

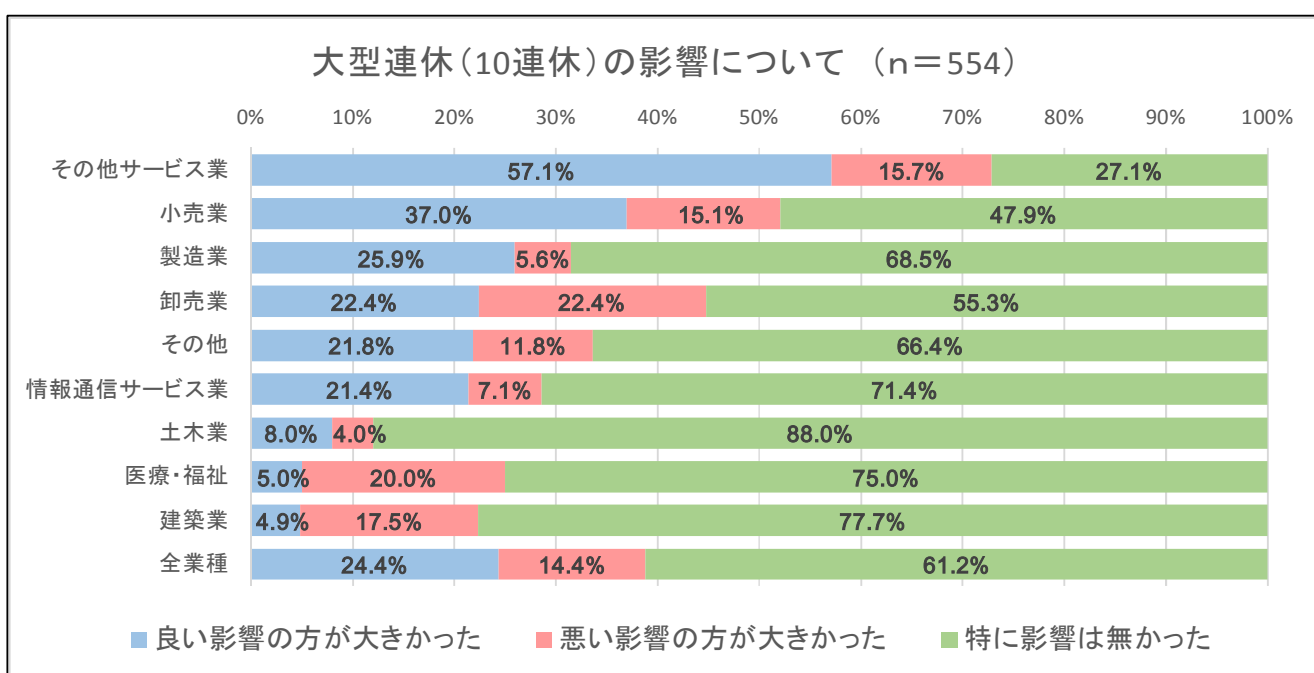
・担当：喜瀬

問い合わせ先：（電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200）

現場主義とお客さまからの信頼

【スポット調査】大型連休（10連休）の影響について

● 県内企業における大型連休（10連休）の影響を、「2019年4-6月期 おきぎん企業動向調査【おきぎんDI】（5～6月に調査実施、県内企業554社回答）」より取りまとめました。全体では「特に影響は無かった」と回答した企業が61.2%と最も多く、次いで「良い影響の方が大きかった」が24.4%、「悪い影響の方が大きかった」が14.4%となっています。業種別では、「良い影響の方が大きかった」の回答割合が最も大きい業種は、宿泊や飲食を含む「その他サービス業（57.1%）」となっており、次いで「小売業（37.0%）」、「製造業（25.9%）」等が続いています。一方で、「悪い影響の方が大きかった」の回答割合が最も大きい業種は「卸売業（22.4%）」となっており、次いで「医療・福祉（20.0%）」などが続いています。



業種別回答社数

単位：社

業種	大型連休（10連休）の影響			合計
	良い影響の方が大きかった	悪い影響の方が大きかった	特に影響は無かった	
その他サービス業	40	11	19	70
小売業	27	11	35	73
製造業	14	3	37	54
卸売業	17	17	42	76
その他	26	14	79	119
情報通信サービス業	3	1	10	14
土木業	2	1	22	25
医療・福祉	1	4	15	20
建築業	5	18	80	103
全業種	135	80	339	554

1. 大型連休（10連休）の影響に関する回答別でみた結果

大型連休について「良い影響の方が大きかった」と回答した企業について、最も回答の割合が大きかった項目は「売上高が増加した（72.6%）」となっており、次いで「従業員のリフレッシュに繋がった（23.0%）」が続いています。一方で、「悪い影響の方が大きかった」と回答した企業のうち、最も回答割合が大きかった項目は、「連休明けの対応が大変だった（40.0%）」となっており、次いで「事前の準備や対策を行った（25.0%）」、「売上高が減少した（21.3%）」などが続いています。また、「特に影響は無かった」と回答した企業については、「特に準備や対策はしなかった」が26.5%、「事前の準備や対策を行った」が12.1%となっています。

「光熱費などの経費」の増減に関する項目や、「連休中に想定外のトラブルが発生した」という項目を回答した企業は全体的に少ない結果となっています。

「その他」の回答の内容としては、「通常通りに営業した」、「銀行や役所が閉まっており不便だった」、「人員の確保・休みの調整に苦慮した」、「工事の進捗が遅れた」などの回答がありました。

大型連休(10連休)の「影響」や「取り組み」について554社による複数回答

上段:件数 / 下段:%

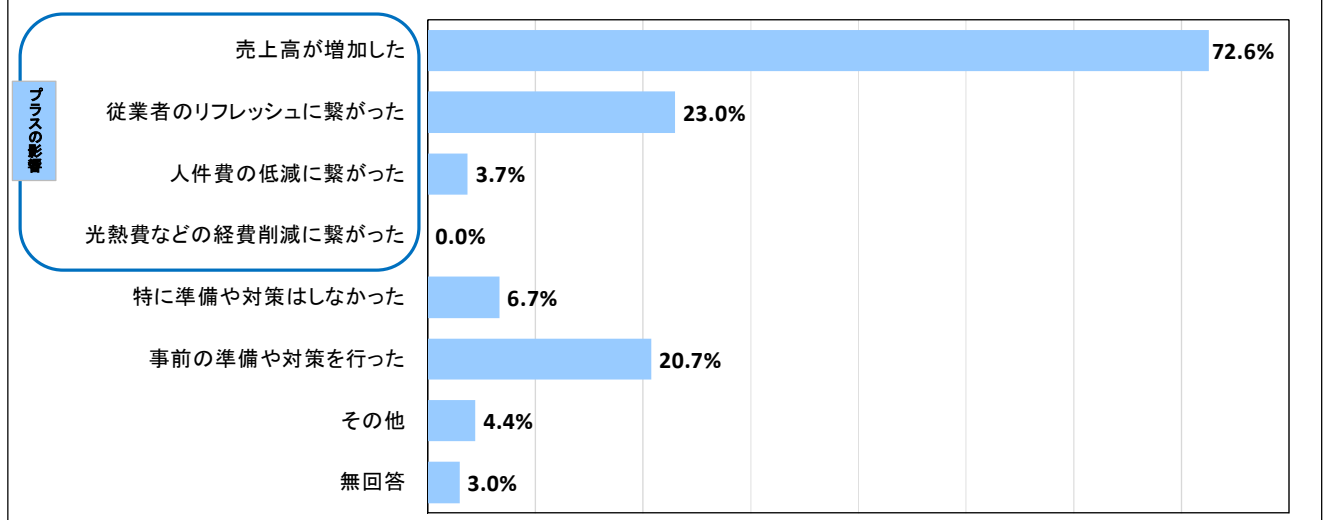
項目	売上高が増加した	従業員のリフレッシュに繋がった	人件費の低減に繋がった	光熱費などの経費削減に繋がった	連休明けの対応が大変だった	売上高が減少した	連休中の需要増加で対応に苦慮した	人件費が増加した	連休中に想定外のトラブルが発生した	光熱費などの経費が増加した	特に準備や対策はしなかった	事前の準備や対策を行った	その他	無回答	対象企業数
良い影響の方が大きかった企業	98 72.6	31 23.0	5 3.7	0 0.0							9 6.7	28 20.7	6 4.4	4 3.0	135 100.0
悪い影響の方が大きかった企業					32 40.0	17 21.3	11 13.8	9 11.3	1 1.3	0 0.0	5 6.3	20 25.0	17 21.3	2 2.5	80 100.0
特に影響は無かった企業											90 26.5	41 12.1	19 5.6	192 56.6	339 100.0
全体	98 17.7	31 5.6	5 0.9	0 0.0	32 5.8	17 3.1	11 2.0	9 1.6	1 0.2	0 0.0	104 18.8	89 16.1	42 7.6	198 35.7	554 100.0

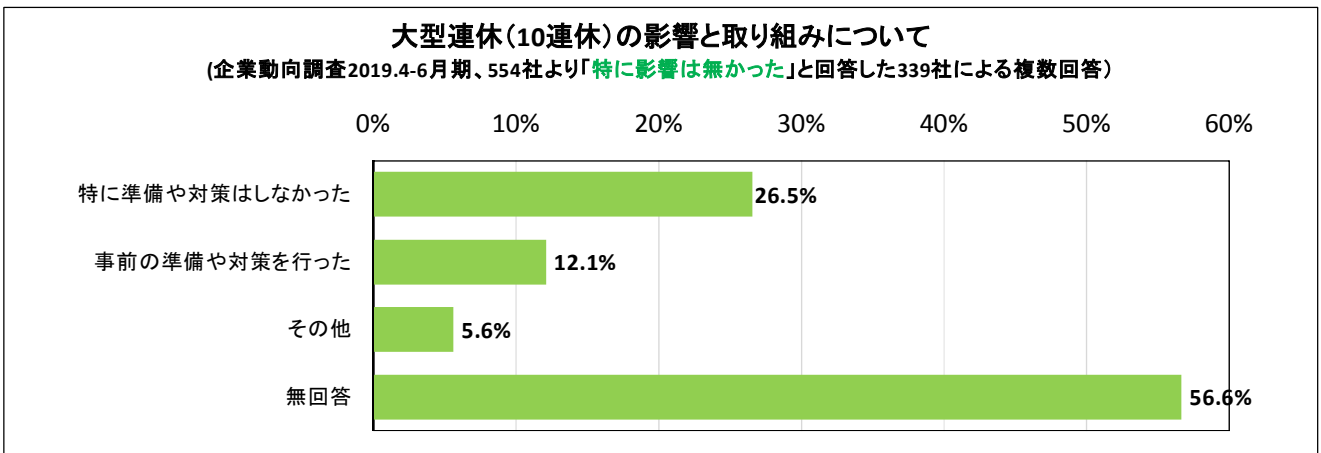
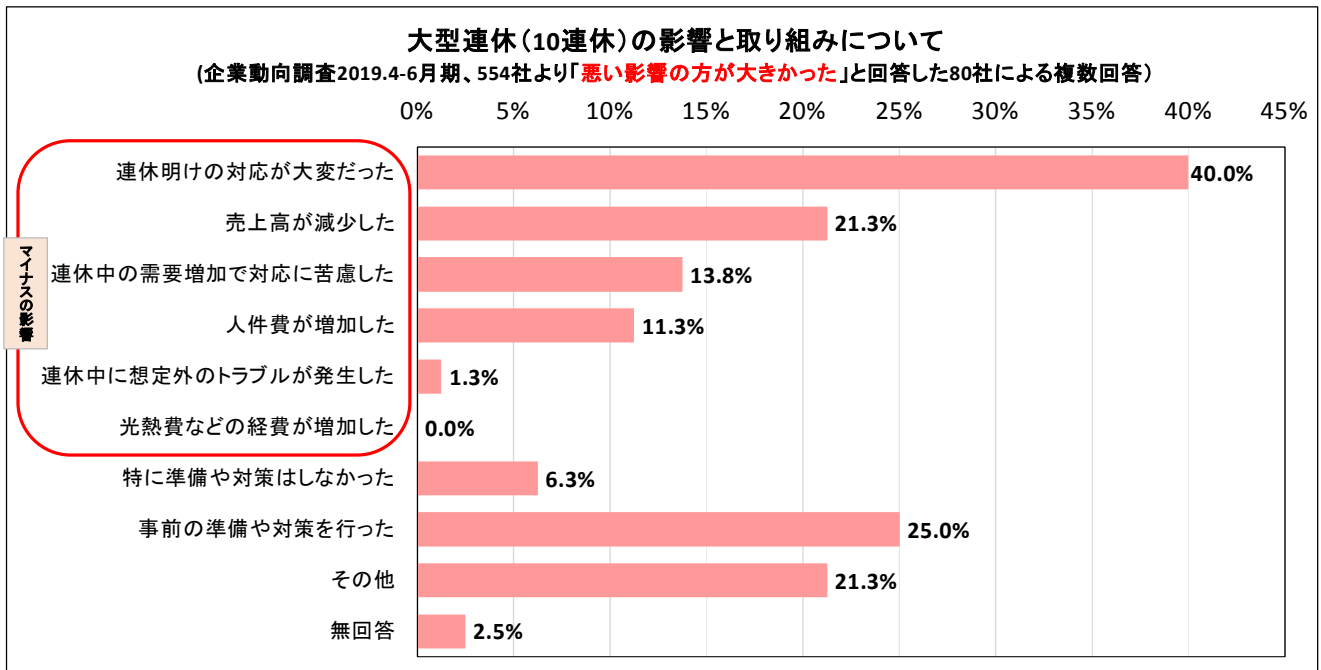
※業種別の回答値が上位1位の箇所を赤字にて表記しています。

大型連休(10連休)の影響と取り組みについて

(企業動向調査2019.4-6月期、554社より「良い影響の方が大きかった」と回答した135社による複数回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80%





2. 今後の大型連休（10連休）の有無について（業種別の結果）

「貴社にとって、今後も今回のような大型連休（10連休）はあった方が良いですか」という質問に対し、全業種では「どちらとも言えない」という回答が64.6%と最も多い結果となりました。その理由としては、「連休中の売上は増加するものの、人員の確保が大変であるため」、「来店客数は増加したが、従業員の負担感が大きかったため」、「10連休ではなく、例年通りのゴールデンウィーク休暇にしたため」という回答が多くみられました。

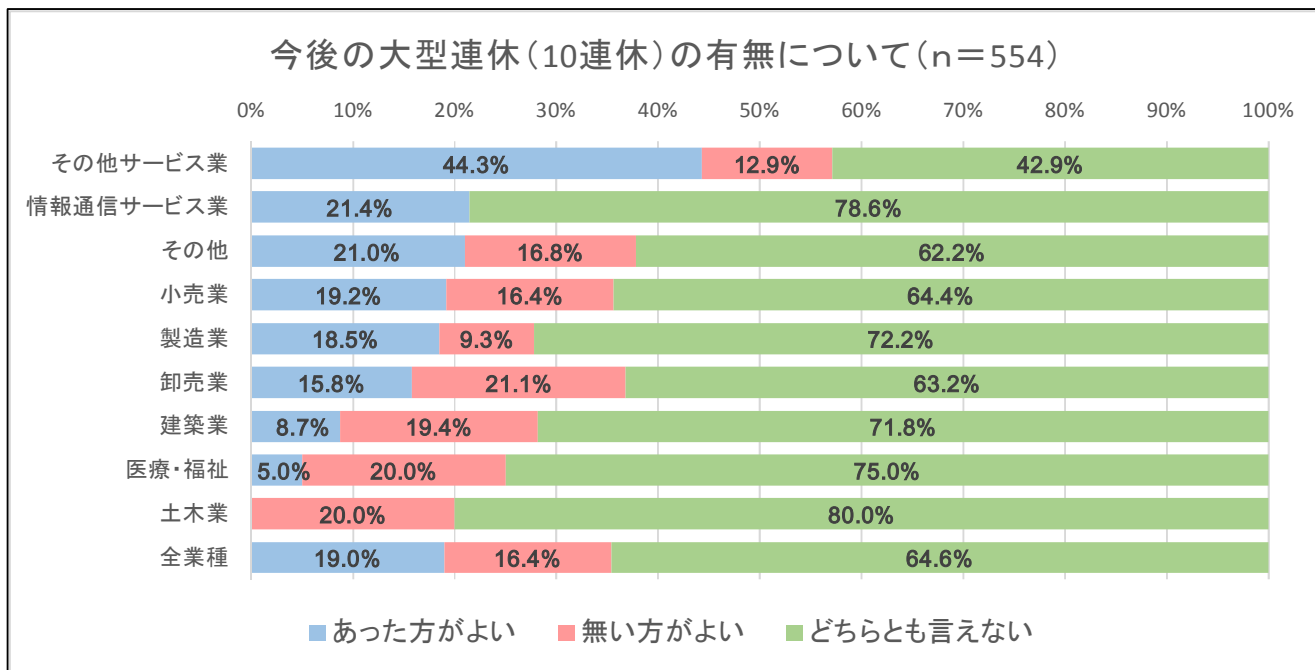
次いで「あった方がよい」が19.0%となっており、理由としては「売上高が増加するため」、「来店客数が増加するため」、「従業員のリフレッシュに繋がるため」という回答が多くみられました。

「無い方がよい」は16.4%となっており、理由としては、「事前準備に時間を要するため」、「連休前後の対応が繁忙となるため」、「工事の進捗遅延に繋がるため」などの回答がみられました。

業種別では、「あった方がよい」と回答した割合が最も大きい業種は「**その他サービス業（44.3%）**」

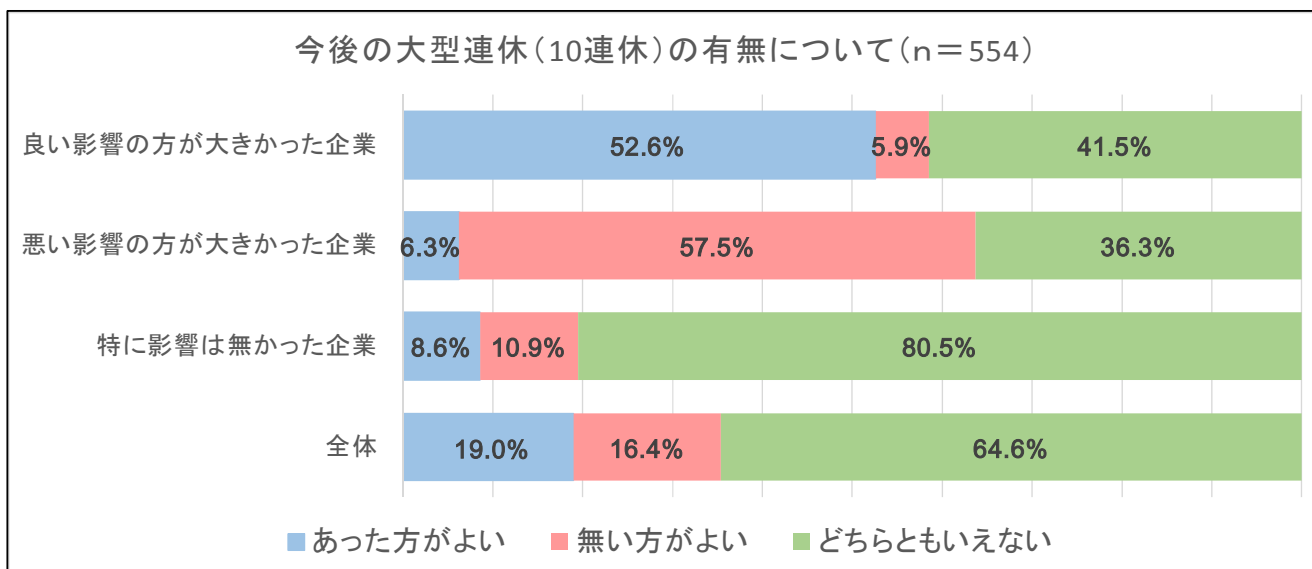
となっており、次いで「情報通信サービス業（21.4%）」、「その他（21.0%）」などが続いています。

「無い方がよい」と回答した割合が最も大きい業種は「卸売業（21.1%）」となっており、次いで「医療・福祉（20.0%）」、「土木業（20.0%）」などが続いています。



3. 今後の大型連休（10連休）の有無について（今回の影響に関する回答別の結果）

今回の大型連休の影響について、「良い影響の方が大きかった」と回答した企業については、半数以上が今後も大型連休が「あった方が良い」と回答しています。一方で「悪い影響の方が大きかった」と回答した企業では、今後の大型連休は「無い方がよい」が57.5%と6割近くを占めているほか、「特に影響は無かった」と回答した企業については、今後の大型連休の有無について「どちらとも言えない」が80.5%となっており、大半を占める結果となりました。



今後の大型連休(10連休)の有無について(今回の影響に関する回答別の結果)

	あった方がよい	無い方がよい	どちらともいえない	合計
良い影響の方が大きかった企業	71 52.6%	8 5.9%	56 41.5%	135 100.0%
悪い影響の方が大きかった企業	5 6.3%	46 57.5%	29 36.3%	80 100.0%
特に影響は無かった企業	29 8.6%	37 10.9%	273 80.5%	339 100.0%
合計	105 19.0%	91 16.4%	358 64.6%	554 100.0%